

## 基本理念

### 目的（存在理由）

#### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観（不変の主義）

#### 1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、  
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

#### 2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、  
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

#### 3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々\*に対し、  
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

\*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー  
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに第42期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）  
中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間における日本経済は、新興国の経済成長に伴い輸出や生産が増加するなど景気悪化に底打ちの兆しが見られるものの、雇用・所得情勢は依然として厳しい状況が続いており、本格的な国内需要の回復には至っていません。また、急激な円高の進行や海外経済の減速懸念など先行き不透明な状況が続いております。

そのような中、建設市場は、先行指標である設備投資は回復傾向が見られますが、公共投資は大幅に減少したため、建設投資全体としては依然として低水準で推移する厳しい状況になっております。

必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提供する — 当社のユニットハウスは、建設現場向けのレンタルを中心とした仮設建築市場だけではなく、ここ数年來、開拓を続けてきた本建築市場、不動産市場においてもその優位性を十分に発揮できると確信しております。“建築の工業化”という当社のコア技術をさらに高めていくことにより、新たな市場の開拓を図っていく所存です。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、失敗を恐れず情熱をもって新しい分野に挑戦してまいります。

### 当事業年度（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の業績について

ユニットハウスのレンタルについては、依然として建設投資は回復せず、厳しい状況ですが、シェア拡大を目指し、積極的に受注活動を進めてまいりました。建設現場向け仮設レンタルは、出荷棟数は増加したものの、競争激化により受注単価は下落しました。一方で、イベント業や不動産業など期間限定で空間を必要とする顧客へのレンタル受注活動も積極的に推進してきました。また、トランクルームを7店舗出店し売上拡充に努めました。

ユニットハウスの販売においては、展示販売場でのキャンペーンを積極的に推進し、既存店舗の売上拡大を図りました。また、当社展示販売場を7店舗出店するとともに、建機リース会社などの代理店やホームセンター等と提携し、新たに50ヶ所以上の展示場に当社ハ

ウスを展示し、販売チャネルの拡充に努めました。

その結果、ユニットハウスの当第2四半期累計期間売上高は7,400百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

立体駐車装置におきましては、当第2四半期累計期間売上高は177百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

上記の結果、当第2四半期累計期間売上高は7,578百万円（前年同期比4.4%増）となりました。利益面においては、全社的に諸経費の削減と効率化に取り組みましたが、営業利益211百万円（前年同期比8.5%減）、経常利益174百万円（前年同期比13.3%減）、四半期純利益35百万円（前年同期比59.8%減）となりました。

今後ともリユース可能なユニットハウスの特長を活かして、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓していくことと、さらなる販売チャネルの拡充に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 長妻貴嗣